

## 救い

自分が困っていた時に、救われたという経験がありますか。考えたことを、つぎの空白に書いてください。

## 救いの道

日本には、古来より神道や仏教があり、多くの人々

が救いの道として信じてきました。キリスト教が日本に伝えられた歴史を振り返りますと、宗教として入ってきただけでなく、ヨーロッパの文化と一緒に入ってきました。当時の支配者たちが、キリスト教を受け入れたのは、純粹に新しい宗教を受け入れたかったというよりも、文化を受け入れたかったのです。キリスト教の歴史の中で、自分の宗教だけが、唯一の救いの道だという事を主張し、多くの人々を迫害してきました。しかし、第二バチカン公会議において、こうした考えは間違いであったことを認め、他

宗教しゅうきょうとの和解わかいにつとめるようになりました。

キリスト信者しんじやの多くおほは、たまたま出会であった宗教しゅうきょうが

キリスト教きりすとであつたという例れいが多いおほようです。現実げんじつ

の生活せいかつとの結びつきむすで、各自かくじが接せつしやすいもの、ある

いは、よりよく自分の道じぶんを見つみつけやすいものを選えらべば

よいのです。

救すくいの道みちを個人こじん的なものにとらえている人ひとも多いおほ

ですが、キリスト教きりすとでは、個人こじんの救すくいではなく、

共同きょうどう体たいに入はいることが強調きょうちやうされています。洗礼せんれいは、

ただ単たんに個人こじんの罪つみをゆるしてもらうだけでなく、

教会共同きょうかいきょうどう体たいに入はいる秘跡ひせきなのです。

洗礼せんれいによつて聖靈せいれいの恵めぐみを受うけたキリスト信者しんじやは、

イエスさまの福音ふくいんに答こたえる使命しめいを受うけます。自分じぶんさえ

よければいいという考かんがえではなく、すべての人々ひとびとが

神かみさまの恵めぐみを受うけられるように働はたらかなければなり

ません。

